

北川 剛さん



北川さんは「合唱団白樺」の指導者・指揮者であり、ロシア・ソビエトのうたの紹介と普及に大きな業績を残しているかたです。六正10年島根に生まれ、武蔵野音大声楽科卒業。ボーカル・フォアのメンバーとして活躍していました。戦後、合唱団白樺の常任指揮者となり合唱指揮者協会委員、労音指揮者クラブ委員長として合唱指揮に、評論に、また歌手として多方面に活躍しています。「やさしい合唱講座」「若人の合唱講座」「ロシア民謡・ソビエト歌曲集」など多くの著書があります。

ごあいさつ

北川 剛

今回皆様のご厚意で、私の生れ故郷山陰で公演できることを心から喜び、お礼を申し上げます。とくに私と同じ町の出身者で、日本に珍しい美声のバス歌手 世良明芳、氏と一緒に演奏できることもこの上ない喜びです。世良氏は藤原歌劇団で活躍中ですが、私の指導しています合唱団「白樺」の独唱者として、永い間協力していただいています。練習場でも、演奏旅行中でも、2人でよく出雲弁で話をしながら私たちなりに故郷の香を発散させています。それに、世良氏は同じ白樺の独唱者であるテノールの中村健氏（二期会）とともに、ロシア民謡の独唱では日本では第一人者であることを、誇りをもって皆様にご報告しておきます。

いつも各地の労音などから「ロシア・ソヴィエトの歌や踊を——」というご要望を受けますが、それを10数年間専門にしております合唱団白樺は勤労者の集りですので長期の旅行には耐えられません。そこで、このたび専門家の集団であるこのアンサンブルを編成し、すでに昨年末は九州地方に行っていました。

舞踊は第一線で活躍している者ばかりですし、中でも本多静雄氏は民族舞踊の研究家として知られ「白樺」の舞踊班の育ての親でもあります。それに合唱は新進声楽家の集りですので、今回の公演も是非皆様喜んでいただけるよう一生懸命に頑張っております。何とぞこの「ナロード」（民衆）をご激励下さるようお願い致します。

3月例会	3月14日(水)	但馬	3月17日(土)	米子
	15日(木)	松江	18日(日)	丹波
	16日(金)	出雲		

◎プロローグ 「日

1. お江戸日本橋
2. そうらん節
3. もずが枯木で
4. 広島船頭唄 (独唱)
5. 五木の子守歌
6. しあわせの歌

◎第一部 「ロシ

1. アムール河の波
2. 民族舞踊「手袋」
3. 鐘は単調になる
4. トロイカ (独唱)
5. 窓辺に散るチェリョー
6. 舞踊「メロディ」
7. 行商人 (男声合唱)
8. 小さいゲミの木
9. 流刑人 (独唱と男声合唱)
10. バイカル湖のほと